

平成25年度 舞鶴市議会意見交換会報告書

建設班

開催日時	平成25年10月18日(金) 午後7時30分～午後8時52分		
開催場所	余内小学校 会議室		
テーマ	通学路等の安全確保等について		
対象団体	余内小学校PTA 子育て支援協議会 余内小学校先生		
参加人数	22名	傍聴者数	7名
出席議員 (役割分担)	岸田圭一郎 (座長・議事進行)	亀井敏郎 (司会)	上羽和幸 (記録)
	松宮洋一 (記録)	梅原正昭 (資料等)	米田利平 (資料等)
内容	<p>【概要】 議長のあいさつ、泉校長のあいさつ、出席者の自己紹介に続き、座長から9月定例会について報告。その後、通学路の安全確保等について、質疑応答を通して意見交換を行った。</p> <p>【意見・要望等】 《子育て支援協議会》 スクールガードは、平成17年11月に発生した広島市での小学1年女児殺害事件を受け、「下校時に1人になる児童の安全確保が必要」との思いから、見守り隊として立ち上がった。早急に隊の立ち上げを行うためには、まず、防犯推進委員をはじめ民生委員等各団体にお願いし、各役員の方がトップになって行うこととした、現在では、特に老人会に皆さんが根気よく動いてもらっている。 組織としては200名であり、そのうち実質60人から70人が積極的に動いておられる状態である。 活動としては、学校から1カ月の予定表をもらい、メンバーに配付し、下校時に立ってもらう時間を調整している。地域により時差があるが、その差はキャリアでカバーしてもらっている。 長く続けていることにより、子どもたちとのコミュニケーションが図られ、連携がとれやすくなっている。 スクールガードとして、子どもたちを見守ってはいるが、もし何か起きて責任はとれない。しかし、現場にいる人間からすると簡単に解決できる問題ではなく、良い知恵があれば教えてほしい。 危険個所については、早急な改善をお願いしているが、どれぐらい道路管理者が認識されているのか、例えば、標識の設置場所が逆であったりする場合もある。せっかくの取り組みが意味を持たないものになるため、もっと地元とのすりあわせをお願いしたい。 また、歩道の狭いところはみどり色に早期に着色することや道路に直接、通学路の表示を書いて欲しい。 さらには、せっかくの取り組みが他の工事の関係により遅れてしまっているところがある。とにかく一刻も早い工事をお願いしたい。</p>		

《 P T A 》

P T Aとして、スクールガードの皆さんには大変感謝している。
子どもたちは、学校が終わってもなかなか真っ直ぐには帰らないので、親として皆さんに立ってもらうことで、すごく安心感がある。
指導としては、集団登校なので時間を守ることや車には気をつけること、前後左右しっかり確認して前を見て歩くこと、悪ふざけをせず登下校することなどを話している。

また、子どもが高学年になると、帰りも遅くなるので、1人では下校せず、誰かと一緒に帰るように言っているが、そうした中、余内地区は、皆さんにしっかり守ってもらっていると感じている。

《 学校 》

学校側は、子育て支援協議会・P T Aなどの皆さんにより、子どもたちの安全を確保してもらっていると思っている。皆さんの迅速な対応で、その反応が、すぐ学校にかえってくるのも感謝しているところである。

先日、子どもたちが、フィールドワークをして通学路等の危険個所をマップに落とし込む作業を行った。それが、NHKのテレビにも取り上げられたところである。こうした活動を通じて、安全意識が高まり、そして、改善に役立てていきたいと思う。

スクールガードの人と子どもたちは、コミュニケーションが良くとれていて、他の行事で学校に来られた際にも、すごく仲良く話をしている。この関係は、小学校を卒業し中学校になっても続いており、素晴らしいと感じているところだ。

舞鶴市議会議長 尾関善之 様

平成25年11月15日

舞鶴市議会意見交換会実施要領第9項（1）により、報告書を提出します。

建設班座長 岸田 圭一郎